
平成 30 年度第 2 回彦根市環境審議会 会議概要

開催日時：平成 31 年 2 月 20 日(水) 14 時～15 時 30 分

開催場所：彦根勤労福祉会館 2 階 第 2 会議室

【会議の内容】

1. 開会

2. 議事

(1) 第 3 期彦根市環境基本計画および地域行動計画に盛り込む大項目（案）について

➤ （事務局から説明）

・大項目（案）として、①ごみの減量・資源化の推進、②温暖化対策、低炭素社会構築都市づくりの推進、③生物多様性の保全と持続可能な活用の推進、④環境配慮行動の実践の推進～参加・協働・連携による人づくり・まちづくり～を提示した。

（委員からの意見等）

・市として中小零細企業を対象とした環境事業の具体的な例はないのか。

⇒現状、中小零細企業向けに環境部門において何か事業ができていないかと言われれば、何もできていない。議会でも、中小零細企業向けの省エネルギー・省資源など、低炭素社会推進、地球温暖化対策に資するものが何かできないかご意見をいただいている。現状は、審議会等の意見をいただきながら、次期計画の策定のなかで考えていきたいというところでとどまっている。

・現状、市として考えられる課題を挙げられているが、具体的に何をやるかまでは記載されていない。審議会においては、挙げられている課題が妥当かどうか議論し、具体的な内容の検討や、その他の課題等があれば協議していくという方向性であると考えてよいか。

⇒本来なら、市として具体的な内容を示すべきと考えているが、そこまで至っていない。今後、市内部で検討し、審議会に示したうえで、具体的な内容の議論をしていただけるよう進めていきたい。

・地球温暖化対策についてであるが、低炭素社会構築を掲げ取り組んで来られたが、時代も変わって気候変動適応法が新たに制定された。その中で地方公共団体の責務が定まっているので、市においても、環境部門のみならず全庁一体となって対応できるように計画の枠組みに入れるべきと考える。

⇒今までの市の取組が省エネルギー、省資源という緩和策が中心であった。今後は適応策についても検討していきたい。

-
- ・歴史・文化を活かした観光振興の取組も柱として入れ込む必要があるのではないか。また、環境配慮行動の実践の推進に関して、彦根市は国民スポーツ大会の主会場となる予定であり、環境に優しい国民スポーツ大会となるように検討いただきたい。また、温暖化対策に関しては国の補助事業がたくさんあるので、市としてどのような事業をやっていくか考える必要があるのではないか。さらに、環境基本計画は、環境の総合的な計画となるので総花的になりがちだが、限られた財源と限られた人員でやっていくので、重点項目を決めて取り組んでもらいたい。

 - ・生物の多様性に関して、特定外来生物に特化した形で課題が挙げられているが、在来有害鳥獣対策も盛り込んでいく必要があるのではないか。
⇒特定外来生物は生活環境課、サル、イノシシ、ニホンジカ等の在来種は農林水産課というすみわけはできている。在来種の有害鳥獣駆除は、滋賀県の計画に従って取り組んでいる。
 - ・環境基本計画は彦根市全体の計画であることを踏まえた計画となるよう検討いただきたい。

 - ・夢がある、彦根らしさを出した内容が盛り込まれた計画となるよう工夫いただきたい。
 - ・外来植物の駆除は強化していただきたい。そのことで貴重種や固有種が守られることになる。
- 今回の審議会で出された意見等を踏まえ、さらに市で内容を検討することを確認した。

3. 閉会